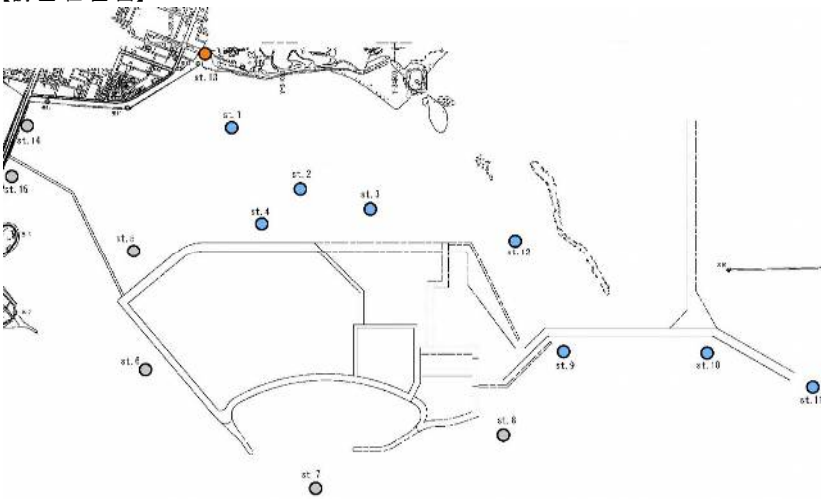
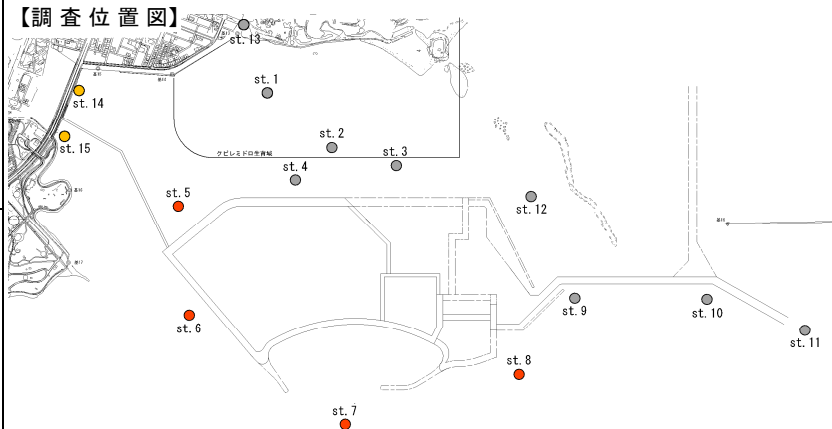


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は12月12日のst.1で3.2mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は12月12日のst.4で2.8mg/Lであった。</p>		<p>今月の県施工事は、地盤改良工(サンドコンパクションパイル)等が行われていた。施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、汚濁防止膜管理、潜水探査、泊地浚渫、土運船運搬、揚土、浚渫土砂改良等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>	
	水質調査結果	<p>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.5mg/L、0.6～3.2mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.7mg/L、0.2～2.8mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>流入部負荷量の調査地点 SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=4回(24計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(24計測中) 平均値は6.5mg/L、2.4～23.5mg/Lの範囲で推移していた。</p> <p>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。 12/24の23.5mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p> 	
基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>			

第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和6年12月1日～令和6年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は、12月14日(AM)にst.5で観測された5.7 mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>工事に伴う濁りは確認されなかった。</p>	
	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.5 mg/L、<1.0～5.7 mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>	
	<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11 mg/Lを超えた回数: st.14 = 24計測中5回 st.15 = 24計測中5回 SS=50 mg/Lを超えた回数: st.14 = 24計測中0回 st.15 = 24計測中0回</p>	<p>特になし</p>	
	<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 12/25 (PM 上げ潮-満潮-下げ潮時) 29 mg/Lが最大値であった。 調査時には風浪による底質巻上げの影響が見られた。 なお、調査時までの降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋) st.15: 12/25 (PM 上げ潮-満潮-下げ潮時) 22 mg/Lが最大値であった。 調査時には風浪による底質巻上げの影響が見られた。 なお、調査時までの降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p>		
基準超過時の気象概況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p> 	
	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
基準超過時の工事状況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

